

○議長（小林哲雄）

皆さん、おはようございます。ただいまの出席議員は12名です。定足数に達しておりますので、これより平成25年開成町議会第1回定例会12月会議第2日目の会議を開きます。

午前 9時00分 開議

○議長（小林哲雄）

日程第1、一般質問を行います。質問、答弁は、簡潔にお願いいたします。

6番、鈴木庄市議員、どうぞ。

○6番（鈴木庄市）

皆さん、改めましておはようございます。6番、鈴木庄市です。通告していました1問について質問いたします。

町道の維持管理計画についてでございます。

町内全域にわたり町道の路面に、亀の甲羅状の亀裂や陥没箇所などの傷みが目立ちます。舗装の亀の甲羅状態といえば、人間で言えば末期がんの症状です。ひん死の状態であります。

開成南小学校の開設、南部地域の開発、開成小学校の大規模改修など、大型事業がありまして、今までなかなか予算が投入されなかったわけですが、そういったことが終わりましたので、これからは少し維持費に予算を投入すべきだと思います。とかく改良事業など、新しい事業は目立ちます。しかし、維持管理は非常に地味で、目に見えないということですが、先ほど申しましたように、今後は維持管理費に力を入れていただきたいと思っております。

町道の維持管理については、第五次開成町総合計画前期基本計画に盛り込まれていることは承知しております。そして平成24年度には路面性状調査業務委託と橋梁長寿命化修繕計画策定業務委託を行っております。その委託事業を受けて、その結果と今後の対応について伺います。

町長は、毎日、役場の職務につく前に、自転車で町内を巡回しております。大変ご苦労さまでございます。町道の状況は十分承知しておられることと思っておりますが、あえて次のことを伺います。

①調査の結果と町道の舗装計画について。

②橋梁長寿命化修繕計画については橋梁の桁部分の計画ですが、委託の結果並びに今後の修繕計画と財政計画をあわせてお伺いをいたします。

○議長（小林哲雄）

町長。

○町長（府川裕一）

それでは、鈴木議員のご質問にお答えします。路面性状調査は、平成24年度の国庫補助事業である社会資本整備総合交付金事業で、繰越事業として今年度に調査を実施しております。調査は、町道の舗装のひび割れ、わだち掘れや、道路縦方面の平坦

性の状況を計測器を掲載した自動車が走りながら調査するもので、町内の町道のうち、5.9キロメートルの区間について実施をしました。

調査結果は、舗装のひび割れ、わだち掘れや、道路縦方面の平坦性の状況により、舗装の状態を補修が必要、要観察、補修が必要ないの3段階に評価をいたします。現在、町道117号線、町道201号線や、町道204号線など、町内の1級、2級河川道路、幹線道路を含む27路線の評価が中間報告され、調査区間全体の結果は、12月に報告される予定であります。

調査結果に基づき、大規模な全線舗装打ち替え等が必要な路線、部分的な改修でよい路線を判断するとともに、今後の町道の利用状況等を考慮し、今年度中に舗装の打ち替え計画を策定いたします。

これまで、町では町道の舗装打ち替えについて、町総合計画、実施計画に優先順位を定めて計画的に実施をしてきました。

第五次新総合計画においても同様に、舗装打ち替え計画を基礎に、総合計画、実施計画に位置付けた上で、国庫補助事業である社会資本整備総合交付金を活用して、計画的に改修しますが、平成26年度については、中間報告の内容に基づき、舗装打ち替えを実施する予定であります。

次に、橋梁長寿命化修繕計画に関する質問についてお答えします。この計画で対象としている橋は、橋の長さ2メートル以上の橋であり、開成町が管理している町道には、79の橋があります。平成20年度から24年度にかけて、橋の長さ15メートル以上の5橋及び町道201号線、町道204号線や、町道235号線等の主要町道8路線にある橋の長さ15メートル以下の23橋あわせて28橋の台帳整備と橋梁点検を実施し、平成24年度にその橋梁点検結果に基づき、橋梁寿命化計画を実施いたしました。残りの51橋についても、今後、計画的に台帳整備と橋梁点検を実施し、点検結果を長寿命化計画に反映する予定であります。

点検調査した28橋で、早急に補修を必要とする橋梁はありませんでしたが、酒匂川にかかる十文字橋、十文字橋と河原町側の交差点の間にかかる吉田橋、町道201号線で、いわゆる旧県道にかかっている2橋、町道200号線にかかっている1橋の合計5橋について補修をする必要があります。この5橋の補修は、第五次総合計画、実施計画に位置付けており、平成26年度から補修工事を実施し、第五次総合計画の前期基本計画である平成30年度までに補修工事を実施する予定であります。

また、松田町と共同管理をしている十文字橋については、松田町と協議の上、平成27年度以降、3カ年に分けて補修する予定であります。

以上であります。よろしくお願ひいたします。

○議長（小林哲雄）

鈴木議員。

○6番（鈴木庄市）

それでは、再質問を行います。維持管理事業費の財政面では、社会資本整備総合交付金事業で対応するとのことですが、平成25年度の維持管理、特に舗装関

係、維持管理関係で、2,887万7,000円が計上されております。この維持管理3,000万前後、毎年あるようでございますが、この交付金が今後どの程度見込まれるかということ、まず1点お伺いをいたします。

○議長（小林哲雄）

街づくり推進課長。

○街づくり推進課長（熊澤勝己）

ご質問にお答えします。社会資本総合整備交付金につきましては、計画的にする箇所を国に上げまして、その補助金につきましては、事業費の55%が交付金ということで、国庫補助金として認められます。町としましても、計画的に舗装打ち替えを行う中で、大体2路線から3路線、毎年舗装の打ち替えを実施してきたいと考えております。

すみません。25年度の交付金につきましては712万円の交付金となっております。

○議長（小林哲雄）

鈴木議員。

○6番（鈴木庄市）

路面性状調査の中間報告につきましては、昨日、資料をいただきました。その結果、59キロ実施しているということでございます。そのうち舗装補修が必要となるというのが44%であります。今少し、この結果につきまして、ご説明を願いたいと思っております。

○議長（小林哲雄）

街づくり推進課長。

○街づくり推進課長（熊澤勝己）

それでは、一般質問の答弁関連資料の3ページをご覧ください。路面性状調査の中間報告ということで、11月20日現在、調査延長は59キロ、調査した中で、評価的に解析が終わっているところが45キロ、約76%の路線で解析が終わっております。下の調査結果ということで、まず一つ、ひび割れ率の部分で見ますと、補修が必要ない部分が、延長的に見ますと9キロ、要観察というところが16キロ、補修が必要だという区間が20キロということで、全体の44%は補修が必要だという中間報告になっております。

わだち掘れにつきましては、下のほうに書いてありますけれども、補修が必要ない区間ということで、解析が終わった45キロ全てに関しては、わだち掘れに対する補修というものは必要ないという中間報告になっております。こちらの報告につきましては、路線の約20メートル間隔のスパンで割った中で、どのくらいひび割れが発生しているか、わだち掘れが発生しているかというものを評価した中で、こちらの延長を足しております。

調査報告としては以上です。

○議長（小林哲雄）

鈴木議員。

○6番（鈴木庄市）

改めて確認いたしますが、この44%の内容ですが、今、20メートル間隔の調査ということなんで、補修を要する実際の延長が44%あるということで解釈してよろしいですか。

○議長（小林哲雄）

街づくり推進課長。

○街づくり推進課長（熊澤勝己）

議員のおっしゃるとおり、今の報告の中では、45キロのうち約20キロ、44%は補修が必要だということで、ただ、こちらの20キロに関しましては、路線ごとの調査の全てではないものですから、最終的には補修が必要なパーセント等が変わるといように思っております。

それとあと、1点申しわけありません。先ほど国庫補助金の金額ですけれども、712万円と先ほど伝えましたけれども、710万2,000円の間違いでした。申しわけありませんでした。修正させていただきます。

○議長（小林哲雄）

鈴木議員。

○6番（鈴木庄市）

町道の号線と言っても、なかなかわかりづらいと思いますので、舗装上、悪いところが目立つのは、町道101号線、これは高台浄水場前、それから112号線、109号線等でございます。これは金井島のほうですね。ごめんなさい、109号線は、クリエイトの横、延沢で、それから125、127号線、これは小学校の北側と言いますか、グループホームはなの路の付近、また2路線の交差点付近、それから122号線、足柄農協の南側の辺、117号線、横農免ですね。242号線、吉原医院、それから改良工事が絡みますが204号線、これは通称馬道、それから235号線、下島交差点から宮台へ抜ける道、こういったところが相当目立っております。そういった中で、町道の44%は打ち替え、あるいは舗装のやり直しが必要だという結果だと思います。

今年度は、44%を換算しますと26キロぐらいになりますが、25年度で計上されている舗装事業は2路線で320メートル、119号線が240メートル、118号線が80メートルということで、この二十何キロのうちでいきますと、相当低いパーセントになっております。これらを単純に考えましても、このペースでいくと30年以上かかっちゃうんじゃないかということでございます。行使によってもいろいろ異なってきますので、一概に延長だけでは比較できないということもございまして、もう少し、ピッチを上げてやっていただきたいものだと思います。収入面、いろいろな問題もございましょうが、いずれにしろ、このペースでは、なかなかきれいな道路がよみがえるということにはならないので、改めて総合計画の見直し等を行っていただきながら進めていっていただきたいと思っております。

今年度中に舗装の打ち替え計画を策定ということでございますので、その中には、この辺のことを十分組み込んでいただいて、計画を練っていただきたいと思います。

これについて、コメントがあればお答え願いたいと思います。

○議長（小林哲雄）

街づくり推進課長。

○街づくり推進課長（熊澤勝己）

今のところですけれども、先ほど言いましたように、今年度12月に報告が全て上がりますので、その結果を踏まえながら、舗装の打ち替え計画を立てていきたいというふうに考えております。またその計画につきましては、現在、総合計画で位置付けられている舗装と見直し部分も含めながら、施行の箇所等を今後相談して決めていきたいと思っております。議員にご意見としていただきましたペースを上げてという意見は十分考えながら、計画の策定をしていきたいと思っております。

○議長（小林哲雄）

鈴木議員。

○6番（鈴木庄市）

ぜひそのようにお願いをしたいと思います。今、課長の答弁でしたが、町長、どのようにお考えですか。

○議長（小林哲雄）

町長。

○町長（府川裕一）

普段の生活道路ということで、各自治会からも、早くうちの前の道路を直してほしいというのは前々から出ていまして、そういった中で、各地区、やはり自分のところの道路が一番悪いと思っている部分はあると思うんですね。

それとまず、今回はきちんと客観的数字で出すことができたので、その数字をもとに、やはり数字の大きな、路面の悪いところから、今回はきちんと計画的に改修計画をつくっていけば、ある程度、皆さん方にも納得していただけるのかなと思っております。できるだけ早く直していかないと、安全に生活できない部分がありますので、特に歩行者、またさらに高齢者、障がい者の皆さんの安全のためにも、できるだけ早く、できるだけ国の予算を早くとりながら、町単独ではなかなか厳しい部分がありますので、補助金をうまく活用しながら進めていきたいと思っております。

以上です。

○議長（小林哲雄）

鈴木議員。

○6番（鈴木庄市）

ぜひ、そのようにお願いをいたします。舗装の維持ではございませんが、町道の維持管理として申しますと、今施工中の山北開成小田原線、開成幼稚園付近、これが完成しますと、県道として管理されていくのではないかと思います。逆に、怒田開成小田原線は町の管理、これは役場の東側に接する町道40号線ですね。マクドナルドか

ら2号橋までの間になりますが、やはり40号線を延伸して2号橋まで、町の管理、町道となるということでよろしいでしょうか。

○議長（小林哲雄）

街づくり推進課長。

○街づくり推進課長（熊澤勝己）

現在、都市計画道路、山北開成小田原線が県西土木のほうで、明治ゴムの裏の牛島交差点から、約延長700メートルの距離で整備が進んでおります。こちらの整備が終わりますと、南部地区土地区画整理組合で施行しました524メートル、5月7日に開通しましたところの区間とあわせまして、道路が1本に開通しますけれども、こちらに関しましては、開通後に、県道として管理、怒田開成小田原線という形の中で管理をするということで、今、協議が進んでおります。牛島交差点から町道249号線までの信号のある交差点、また、249号線から一部249号線を使って、石原スタンドまでの間が県道という形で、県管理となります。

それにかわりまして、議員が言われました吉田島交差点、マクドナルドのある交差点から石原スタンドまでの交差点、こちらの現在怒田開成小田原線と県が管理されている部分が町道という形で移管される予定でございます。移管の時期につきましては未定という中で、今、協議をしている最中でございます。移管に伴っての道路の補修等を確認しながらその辺の協議を進めて、時期を決めていきたいと思っております。

以上です。

○議長（小林哲雄）

鈴木議員。

○6番（鈴木庄市）

2号橋の完成とともに、開成町の車の流れというのは相当変わってくるということだと思います。そういうことで、今言った町道の管理というものは、相当今までと違って変化もあると思いますので、細心の注意が必要かと思っておりますので、その辺についてよろしくお願ひしたいと思っております。それと同時に2号橋の完成、それと同時にその管理という問題も今後発生すると思っておりますが、まず、2号橋の完成はいつごろか、改めてお聞きしたいと思っております。

○議長（小林哲雄）

街づくり推進課長。

○街づくり推進課長（熊澤勝己）

酒匂川2号橋の完成につきましては、県に確認しましたが、今年度中に完成ということで確認しています。

開通につきましては、まだ県から正式に発表がされていない部分で、未定という形ですけれども、近々その辺の予定が公表されるというふうに聞いております。

あと管理につきましてはですけれども、酒匂川2号橋につきましては、しばらくの間、県のほうで管理を行うという形で、今、話が進んでおります。

以上です。

○議長（小林哲雄）

鈴木議員。

○6番（鈴木庄市）

2号橋の問題については、いろいろ今後協議が必要かと思しますので、よろしくお願いをしたいと思います。

それでは、橋梁長寿命化修繕計画ということについて、お伺いしたいと思います。まず、十文字橋、今後二、三年で補修するということですが、現在の通行量はどのくらいございますか。

○議長（小林哲雄）

街づくり推進課長。

○街づくり推進課長（熊澤勝己）

十文字橋の通行量につきましては、すみません。正確なデータというものは、今、ございません。こちらのほうでも把握していない状況です。

以上です。

○議長（小林哲雄）

鈴木議員。

○6番（鈴木庄市）

推測では、8,000台とか、1万台というような状況だろうかと思いますが、これは後でわかったら教えていただきたいと思います。

この前の災害と同じで、もしも、また同じように災害とかその他によって、通行どめになった場合には、相当渋滞されるんじゃないかなと予測されます。

今度、足柄大橋と新十文字橋、それから今度できます2号橋に分散されますから、前より緩和されるとは思いますが、なお相当渋滞は招くんじゃないかということで、その辺で桁の長寿命化計画ということで、今年度、これも計画すると、それで順次行っていくということなので、ぜひお願いをしたいと思います。それに関連しまして、橋脚部分はどうかということが気になるのですが、その辺について、補強関係はどうなっているのか、おわかりならば教えていただきたいと思います。

○議長（小林哲雄）

街づくり推進課長。

○街づくり推進課長（熊澤勝己）

十文字橋につきましては、先ほど言いました長寿命化に伴う点検で、桁の部分の点検は終わっております。橋脚につきましては、現在、点検等は終わっておりません。今後、長寿命化計画とは別に、橋脚の点検をどうするかという部分につきましては、調査をいつやるかという部分は、松田町と協議した中で実施していきたいと思っております。これにつきましては、松田町とも、そういう点検が必要だという、お互いの認識はっております。

○議長（小林哲雄）

鈴木議員。

○6番（鈴木庄市）

松田町と両町で管理するという事なので、お互いに協議の中で進めていただきたいと思います。桁だけ直しても、それを支える橋脚がだめになれば同じでございますので、その辺、ぜひお願いをしたいと思います。

それから、補修だけではなくて、将来的には架け替えるのか、あるいはどうするかと、こういう大きな問題もあると思います。架け替えということになりますと、酒匂川の流量が流れる断面というのがありまして、それより上に架けなきゃいけないことがあります。この辺は私も承知をしているところでございますが、ざっくり言うと、吉田橋のこちらに行けばケヤキの木があったんですが、そこにコンクリートの壁がありますが、あの高さが河川断面ですね。その河川断面より下には、今後、新しい構造物はできないということでございます。

橋脚は別として、桁はそれより高く上げなければいけない。そうなりますと、それにすりつける長さが問題になってきますので、なかなか架け替えというのは大事で、そう簡単にはいくものじゃないということでございますが、しかし、将来を見据えてどうするかという、一つの方向性は何とか出さなきゃいけないんじゃないかと思うんですが、その辺のお考えについて、お聞かせ願いたいと思います。

○議長（小林哲雄）

街づくり推進課長。

○街づくり推進課長（熊澤勝己）

十文字橋の架け替えにつきましては、松田町との協議の中では、なるべく長寿命化計画に基づいた補修という中で延命していきたいというのが基本的な方針で、両町の考えでございます。

現段階では、いつに架け替えるというような時期的な話は整っておりません。とりあえず、なるべく延命させていきたいというのが基本的な考えで、架け替えの時期についてはまだ具体的な話等、協議はしておりません。

以上です。

○議長（小林哲雄）

鈴木議員。

○6番（鈴木庄市）

架け替えとなりますと大ごとで、そんなに今日明日にというわけにはないんですが、ただ、方向性だけは出しておかなければいけないのではないかと考えておりますので、ぜひ両町と協議の上、方針を決めていただきたいと思います。

舗装の町道の維持管理については、先ほどいろいろ見直ししながら計画を練るということでございますので、ぜひそのように進めていただきたいと思います。

以上で私の質問は終わりにします。